

花新聞

花を愛し、花の輪を広げよう。

HANA
SHINBUN

第11号

北九州市建設局
公園緑地部緑政課花係

〒803-8501 小倉北区域内1-1 093(582)2466



花新聞キャラクター
ピッピーちゃん



秋風薫る北九州で、 季節の花を感じてみませんか。

ワンポイント



花・言・葉

【はぎ】 思い・思案・内気

秋の七草にも数えられ秋を代表するハギは、楕円形の小さな葉をつけた数本の茎が集まって、そこに小さな赤紫色の花をたくさんつけます。群れて自生しているところでは、多くの花が咲き茎がしだれて赤紫色の布を一面に広げたように見えます。

群れて咲いてもよし、一本一輪を見てもまた可憐なハギ。美しい花色で夏から秋の間、長く咲き続け私たちの目を楽しませてくれます。秋遊草(あきちぐさ)とも呼ばれるハギ。ススキと一緒に飾り、だんごや果物を

春はツバキ、夏はエノキ、冬はヒイラギ、すぐに漢字が連想できますか。それぞれ木偏に季節の漢字を当てると季節を代表する植物になります。そして草冠に秋と書けばハギ「萩」になります。

北九州市内では門司港レトロ地区から車で10分ほどのところに位置する和布刈公園が特にお勧めです。

秋を感じる赤紫の花

を供える十五夜のお月見は日本の秋の風物詩ですね。

松尾芭蕉の句にもあるように、和歌や俳句に度々登場するハギ。ハギは別名「鹿鳴草(しかなきぐさ)」ともいいます。上品な中に、どこかもの哀しい雰囲気。ハギに、秋の悲しげな鹿の鳴き声をあわせたもので、言葉のうえでも歴史的にも、秋をそのまま感じさせてくれる花です。

白露をこぼさぬ萩のうねりかな

寒くなる季節でも、花といっしょに心がほんわか… 北九州発! 2000年、秋冬花コレクション

今年の秋冬は、愛情いっぱい
種から育てて春をまつ

秋冬に楽しむ ガーデニング

初心者にお薦め

パンジー・ビオラ

● 種蒔きの時期

7月から10月頃まで。種蒔きから60日くらいで開花し、6月頃まで楽しむことができます。

● 育て方のポイント

庭でもプランターでも育てられます。浅根性なので空気を多く含んだ土を使い、堆肥を多く与えてください。水も日光もたっぷりを与えて大丈夫です。花の時期には、枯れかけた花をすくりに摘むようにします。

上級者向け

クリサンセマム類

● 種蒔きの時期

9月〜10月が種蒔き時期で、春には黄色や白の花を咲かせます。仮植えからプランターや花壇に移します。

● 育て方のポイント

乾燥を好む花なので水のやりすぎには注意してください。肥料も控え目の方がいいでしょう。



●パンジー

大切な花たちだから、 きちんと春まで残したい 鉢植え花の 越冬アイデア

特徴ある花で人気の熱帯植物

パフィオペディラム

● 植物の特徴

本来は熱帯の深い林の中で、木の枝や幹に着生して、気根から水分や養分を取って育ちます。

● 育成環境のポイント

鉢に水ごけを入れ、温度が8度以下にならないように、太陽の当たる室内窓際のカーテンで保温されるような場所に置きます。水はできるだけやららず、乾燥させてパフィオ自身を越冬体制に入らせます。



●パフィオペディラム

湿度を50%以下にすれば温度は4〜5度まで下がっても大丈夫です。11月や3月は、なるべく屋外で日光に当てますが、夜間は霜が降りることがあるので室内に入れる方がいいでしょう。

● 株分け

無事、越冬して春に花を付けたら、花の後の4〜5月頃、年に1回、株分けをします。

花いっぱいのもち・北九州に 北九州花いっぱいプロジェクト はじまる

花のある風景はわたしたちのこころに安らぎと潤いを与えてくれます。

通りの人に楽しんでもらうような花を外向きに飾れば、それは素敵な花の小道。また、公園が花でいっぱいになれば、地域のみなさんの憩いの場としてコミュニケーションも深まります。まさしくまちのオアシスづくりですね。そんな花によるまちづくりを実践しているエリアを2つ紹介したいと思います。

本城エリア

力をあわせて花の公園づくり

赤坂池公園や、本城三丁目東公園では、本城地区の地域のみなさんが、町内美化活動の一環として、公園での花づくりを行なっています。こころ安らぐ場所にしたい、という強い思いがきっかけになっており、活動は実に前向きでしかも独創的です。

不用品を活用してつくりあげた花壇、背の高い大きなひまわりを育て、周囲の人々に楽しんでもらうとする試み、除草を含めた熱心な清掃活動



動：どれも、地域の皆さんが力をあわせて行い、コミュニケーション活動もさかんです。花の美しさを楽しむだけでなく、花づくりを通して人の輪がひろがっているようですね。

八幡西区本城東三丁目 赤坂池公園周辺



舞が丘エリア

四季折々の花が楽しめるまち

北九州市が主催している花咲くまちづくりコンクールへたくさん応募をいただいているのが、小高い丘に広がる舞が丘団地のみなさんです。道路に面した門や壁の周りに外に向けた花壇を設置しているお宅も多く見受けられます。道行く人にも花を楽しんでもらおうとする気持ちのあらわれですね。

花によるまちづくりは、よりよい住環境づくりにもつながります。みなさんもぜひ、まちぐるみで花づくりに参加してみませんか？



小倉南区 舞が丘



最優秀賞

北九州市立吉田中学校
(小倉南区中吉田)学校中庭集合花壇、玄関付近



中庭の集合花壇は年々ボリュームを増し、かつ洗練されたデザインにより花壇全体に統一感を持たせている。学校の花づくりに取り組む姿勢が素晴らしい、花いつばいの学校として他の模範となるものである。
多種多様な花の性質を活かした立体的な花壇づくりを、綿密な年間計画により実現している点がきわめて高く評価される。

優秀賞

北九州市立風師中学校
(門司区風師)玄関前階段および壁面



花づくりに積極的に取り組み、特に玄関付近の階段・壁一面の花飾りは配色技術やデザイン性に優れており、技術力の高さがうかがえる。

優良賞

北九州市立前田小学校
(八幡東区祇園)中庭校門付近、学校前歩道



中庭の整形花壇はボリューム感があり、色彩バランスが良くデザイン性に優れている。また、十分な維持・管理に基づき、四季折々の花を咲かせている。



審査員特別賞

北九州市立枝光小学校
(八幡東区枝光)



中庭、学校玄関まわり、外周フェンス、ハットポトルを花鉢として有効活用するなど、生徒全員に植物の美しさや力強さを学ばせながら、同時に環境活動にも熱心に取り組む試みは、学校における花活動のモデルケースとなるものである。

審査員特別賞

学校法人豊国学園小倉瞳幼稚園
(小倉南区上貫)



園内花壇、園周辺空き地、広い園地の随所でたくさん花づくりが行われており、起伏のある屋外広場や山の斜面を取り込み、おやかな雰囲気の中で、子供達の健康やかな成長を期待させる花活動が展開されている。

最優秀賞

ひまわり町内会
(小倉北区浅野)JR小倉駅北口広場



平成6年以來、駅周辺の環境美化を含めた維持管理を続けながら、花を中心とした活動を行うなど、まちづくりに対し、高い意識と意欲が認められる。
駅前広場におしゃれな空間を創り出すとともに、花に関するイベントにも非常に熱心に取り組むなど、花のまちづくりに大きく貢献している。

優良賞

へアーサロン・トミー
(八幡西区割子川)



店舗玄関前および駐車場付近、店がひきたつような鮮やかな花の使い方がされており、立体的なデザインへの創意工夫が感じられる。花壇の場所が限られている中で、プランターにより季節の花がセンスよく配置されている。

審査員特別賞

小林理容店
(小倉南区山手)



全体的に緑と花の調和がバランスよく保たれており、落ち着いた花飾りとなっている。花鉢がよく手入れされており、花づくりに対する熱心が認められる。

優良賞

印璽の富士山
(八幡西区力丸)店舗入口周辺



幹線道路の交差点に位置する多くの花飾りは、ドライパーや道行く人に潤いと安らぎを与えている。自宅で育成した花を、まめに入れ替えながら、花飾りを行っている点に好感が持てる。



受賞箇所発表 第5回 北九州市

花咲くまちづくり コンクール



花づくりを通して、楽しいまちづくりに貢献する人々を応援する「花咲くまちづくりコンクール」。5回目を迎えた今年も、131件の応募がありました。ご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、受賞箇所が決定しましたので発表します。

個人部門

最優秀賞

繁田 治男さん

(小倉北区熊谷) 自宅庭、玄関
外向きに開かれた自宅庭の花壇はポリウムもさることながら、長年にわたり、外観を意識した花づくりが周辺地域に与える効果は大きく、花の



まちづくりに貢献しようとする姿勢がきわめて高く評価される。ひとつひとつの花に対するきめこまやかな手入れとともに、ほとんどの花を種から育てていることなど、総合的な栽培技術の高さが認められる。

優良賞

杉本 英子さん

(八幡西区浅川学園台) 玄関、自宅庭
洗練されたデザインで庭全体の調和を保つとともに、ハンギングバスケットやコンテナの寄せ植えなどを見栄え良く配置し、年間を通じて花を咲かせている。



優良賞

馬場 晴子さん

(八幡西区浅川町) 自宅庭および塀まわり
理想の花づくり、花飾りを目指す意欲が感じられる。また、花のポリウムに加え手入れも行き届いており、維持・管理能力の高さが認められる。



優秀賞

八尋 昭和さん

(八幡東区西本町) 自宅入り口及び庭一帯
自宅入り口一帯に、ツルバラなどの四季の花々による立体的でダイナミックな花飾りを行ない、入口から続いている庭も花が調和するようにすっきりと仕上がっている点など、花飾りの工夫は高く評価される。



審査員特別賞

増永 真弓さん

(八幡西区東折尾町) 自宅玄関まわり、庭
パーゴラやトレリスなどの高低差を活かしたアイデアにより、センスよくまとまった花飾りを創出している点が評価される。



審査員特別賞

香原 美代子さん

(八幡西区力丸町) 自宅庭全体および玄関まわり
緑と花の調和がとれており、庭全体に統一感が感じられる。また、一年を通して様々な種類の花を咲かせ、道行く人の目を楽ませている。



団体部門

最優秀賞

志井第一萌会

たかは台団地入口
(小倉南区志井鷹羽台)
花壇を立体的にするにより、花々がより美しく見えるような演出がなされている。また、新しい花を取り入れるなど、植えられている花の種類も豊富で、長年にわたる花づくりに対する意欲や向上心が認められる。



優良賞

万葉の会(城野公民館)

城野公民館駐車場一帯、道路沿い花壇(小倉南区富士見)
花壇デザインや、花鉢の配置にセンスのよさが感じられる。花の手入れも行き届いている。地域住民の憩いの場を目指した花による活動は、花のまちづくりの好例と言える。



優秀賞

赤坂池公園愛護会

赤坂池公園内花壇
(八幡西区本城東)
花により公共の場を美しくしようとする姿勢や、維持管理面の熱心な取り組みが高く評価される。これらの花活動が、地域に潤いと明るさを与えている。



審査員特別賞

童子丸二丁目西公園愛護会

童子丸二丁目西公園内花壇
(若松区童子丸)
公園の清掃活動などを含めた維持管理が行き届き、広場周りに広がる花壇が、明るくて清潔な公園を演出している。



第5回 北九州市花咲くまちづくりコンクール 最優秀賞受賞の喜びの声

花通信



田んぼに真つ赤な彼岸花が連なり始めると、数年前、あるお寺で見つけた珍しい白い彼岸花を思い出します。お寺の一角にまとまって咲いていたのですが、すつと伸びた茎の上にもるでたくさん線香花火

がばつと散つたような花の姿に感動したのでした。今年は久しぶりに足を運んでみようかなあ。

花新聞リポーター
園田静佳
クロフネMエコーシアツウツサ
九州フリースタイル小倉かわら版
R九州ラジオいももん北九州リポ



〈団体部門〉志井第一萌会

団地入口の花の名所は 愛情いっぱいの手作り花壇

総勢86名の志井第一萌会は、60才以上の高齢者の皆さんの集まりで、平均年齢71才、最高年齢94才の大所帯です。ゴミ捨て場だつた約20坪の土地を、ゴミを拾い、土を掘り起こして石を取り除き、少しずつ花を植えて、今の花壇になるまでに2年かかつたそうです。お

花のおばあちゃんとして有名なメンバーの一人、関野美子さん(85才)の「日照りが続いたら、すつと自分はいきついたり思わないけど、お花がかわいそうと思う」という言葉が印象的で、皆さんの花に対する愛情を強く感じました。



〈個人部門〉

繁田治男さん

花壇を通して、道行く人々との交流が広がつたそうです。大変な花作りも、そつじつた瞬間があるから楽しいとのこと。「花の精よ、人の心に飛び込んで」とお言葉を頂きました。



〈学校部門〉

吉田中学校

生徒に学校の自慢をアンケートしたところ、「花」という答えが上位だつた吉田中学校。生徒自慢の花づくりは、秋から冬にかけての時期でも盛んで、花壇が花でいっぱいになるそうです。



〈企業・商店部門〉

ひまわり町内会

JR小倉駅北口は、北九州市の玄関です。来訪者に喜んで頂くために、「ひまわり町内会」は花の手入れや清掃活動による環境美化活動を展開しています。



はなまちニュース

観音寺公園花づくり仲良しクラブ

花づくりは感謝の気持ちと 自然体がモットー

十数年前から藤田ヒロコさん(69才)を中心に、5〜6人で花づくりをし、という観音寺公園。ぐるりと見渡すと小さな花壇に花がキチンと整列し、園内を見守るお地藏さんまでの通路はゴミひとつありません。街の一角のこじんまりとした公園なのに、大切に管理されていることがしつかりと伝わってきます。

その為、公園に水を引いてもらった時の感動が忘れられず、当時の感謝の気持ちで、今も公園の花づくりを続ける原動力になっているとのこと。また皆さんの活動は自然体がモットー。全員が揃って作業をするというより、一人ひとりが、毎日好きな時に公園を訪れ、自主的に公園の手入れを行います。ある人は持参した買物袋にゴミを拾い、次に訪れた人は「ゴミはないから草取りをしよう」。また次に来た人は「ゴミも草もないから花に水をあげて帰ろう」といった具合です。

「一人ひとりが気がついたことをするのが私たちの活動の自慢です」とリーダーの藤田さん。一方でメンバー全員が集合した時は「他の公園に観察に行つて花づくりの研究もします」と、楽しそうに話してくれました。皆さんにお会いして、私たちが気持ち良く公園を利用できたり、花がある風景を楽しめるのはこうした地道な活動を続ける皆さんのお蔭なんだということを強く実感しました。



「水を引きしてくれたことに感謝して花づくりはすつと続けたい」と話す仲良しクラブの皆さん。今回は公園を利用する私たちが感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と伝えたい気持ちでいっぱいです。



大切な花に関する疑問・質問
なんでもお答えします！

花相談

キンセンカ

花色が明るく、古くから日本人に親しまれてきたキンセンカ。秋に種を播けば、春には花壇を明るく飾るキンセンカを楽しむことができます。

Q 種まきの時期や移植・定植について教えてください。

A 種まきは9月上旬～中旬に行います。ピートバンまたは育苗箱に3～4粒ずつ30cm間隔に播き、薄く覆土します。7



～10日で発芽するでしょう。移植のタイミングは本葉3枚の頃、花壇やプランターに10～15cm四方間隔で仮植します。定植は3月中旬頃、本葉5～6枚の時に30cm四

方に一本の間隔で行います。霜除けは、プランターなら軒下などに移動させ、花壇の場合は、ワラなどで防寒を行うてください。

Q 病虫害が心配なのですが

A 元来、キンセンカは病虫害に強い草花ですが、化学肥料を根元などにやりすぎると急に枯れてしまうことがあります。元肥として緩効性肥料を土全体に混ぜて定植し開花期には、花壇なら緩効性肥料を、プランターなら液肥を2回程度与えてください。

皆さんの質問にお答えします。電話でも相談を受け付けます。●花と緑の相談所(グリーンパーク内) 電話093-741-5587

暮らしの花風景

厳冬期を除いて晩秋から発芽期前までは、樹木の移植適期です。樹木を植えることで、庭に落ち着きや風格が加わるばかりでなく、夏の暑い日差しをさえぎる樹陰や、ゆらめく木漏れ日、風に揺れる木々のざわめきなど日常生活の中にドラマチックな舞台をつくり出してくれます。

張り出した枝にランタンを吊るしたり、クリスマスには豆球をからませたり、夜の庭の風情を楽しんでみるのもいいでしょう。

樹木の魅力はなんとといって、も圧倒的な緑の分量ですが、ベニバシモなど葉色の変わ

た樹種などでイングリッシュガーデン風に植え込んでみるのもステキです。

またサクラソバなど花や実のなる樹木であれば、楽しみやうれしさも格別です。

春から伸びだした新枝に紫の実をつけるコムラサキシキブなどは、背丈ほどの高さでスタンダード仕立てにしておくと、株元はユリやクリスマスローズなど夏の日差しが苦手な草花の格好の花壇になります。

狭い庭には落葉樹を主体として植え、冬の暖かい日差しや明るさを確保する工夫をしておきましょう。

境界のブロック塀などの下には、さし芽でふやしておい



【文】西日本短期大学造園科非常勤講師 グリーンアドバイザー 育成陽子

樹木は一度植えると、年々成長を続けていきます。花後などに定期的な剪定を行わない自分で管理できる樹高や樹形に整えておくことが最も大切なことです。

た常緑のアイビーなどのツタ類をたくさん列植しておきます。2～3年もするとさわやかな美しい緑の壁ができ上がります。

おてかけ インフォメーション

●グリーンパーク (741) 5545

「グリーンパーク動物写真コンクール作品展」
9月2日(土)～25日(月)
「第24回北九州市都市緑化祭」
10月15日(日)
入園料無料(駐車場有料)

●山田緑地 (582) 4870

「RYO作品展『消えゆく花たち』出会い」
9月10日(日)～17日(日)
「登山家 田部井淳子講演会 & 山田の森散策」
9月15日(祝)

●白野江植物公園 (341) 8111

「松下清子散策スケッチ展」
10月1日(日)～30日(月)
「秋の草花の植付けと管理」
10月7日(土)



観て写して遊んで楽しい 博覧祭の花

抱えきれない巨大な花束に出迎えられ、お好みの花の写真立てを選んでご家族や仲間たちと楽しく記念撮影したり、花やリボンで飾られたかわいらしいプランコに乗るなど、観て・写して・遊んで楽しんで花のオブジェが皆様をおもてなしします。市の花ひまわりは、花言葉で「あなたはすばらしい」の意。その代表的な品種と仲間達による祭典「ひまわり博覧祭」は必見です。赤ちゃんからお年寄りまでご来場をお待ちしております。

響きあう人まち 技術「北九州博覧祭2001」
2001年7月4日～11月4日
八幡東田地区 JRスペースワールド駅前



マスコットキャラクター ヒビッキー

花新聞だより

「ご存じですか? フラワーバンク」
フラワーバンクとは、市民の皆さんから寄せられた花の種を希望する家庭に提供し、新たに結実した種の一部を返還してもらう種のリサイクル制度です。先日も門司区の西さんからナノハナの種を寄付していただきました。「みなさんの役に立てばと思います」とおっしゃる西さん。みなさんもぜひフラワーバンクに花の種を寄付して、花と心の輪を広げませんか?
※フラワーバンクでは、みなさんからの花の種の寄付をお待ちしております。
お問い合わせは建設局緑政課花係まで。 ☎582-2466



お便り待っています。

ご自宅で咲かせたお花のことや、北九州市内でお気に入りの花のスポットなど、花に関することならなんでも結構です。あなたの花に対する思いをお聞かせください。花に関する質問なども受け付けています。写真同封も大歓迎。お便りの一部は花新聞誌上で紹介させていただきます。

あて先
〒803-8501 小倉北区内1の1
北九州市建設局
公園緑地部緑政課花係
TEL 093-58212466
FAX 093-158213114